

フォーラムニュース Vol.48 2023 3/10

発行：「フォーラム・子どもたちの未来のために」実行委員会

<http://www.f-kodomotachinomirai.com/>

文責：大竹永介

ロシアのウクライナ侵攻から早くも1年。「戦争」という言葉が今ほどリアルなものに感じられる時代はありません。しかし、「敵が攻めてきたらどうするんだ」という「大きな声」はきこえてきても、実際に「国を守る」とはどういうことなのか、戦争とは、平和とは、軍事とは何なのか、という問題について私たちはどれほどのことを知っているのでしょうか。ここに、長年防衛問題にとりくみ、軍事の専門家として知られるジャーナリストが書いたユニークな児童書があります。「戦争と平和の船、ナッチャン」（講談社刊 定価：本体 1400 円）その担当編集者である片寄太一郎さんに企画の意図などについて原稿を寄せていただきました。（編集部）

《戦争と平和について考える》

防衛専門記者が子どもたちに伝えたかったこと

～半田滋『戦争と平和の船、ナッチャン』～

片寄太一郎

（講談社児童図書編集チーム）



半田滋さんは、現在は退職されましたが、30年以上にわたって防衛を専門に取材をされてきた新聞記者でした。現在も「防衛ジャーナリスト」として、防衛費倍増の問題や、ロシアとウクライナの戦争などについて旺盛に記事を書き、発言していることは、ご存じの方も多いことでしょう。

私は『月刊現代』（休刊中）という雑誌にいた頃から半田さんの担当をしており、この『戦争と平和の船、ナッチャン』も、「若い世代が防衛問題を身近に感じられる本」をかたちにしようと考えを巡らせるなかで、ご提案いただいたものです。

企画の起こりは、「ナッチャンワールド」という津軽海峡を往復していた実在の観光フェリーが自衛隊にチャーターされ、今や戦車や装甲車を演習地に運んでいるというシンプルな事実でした。書籍ではナッチャンに女性の人格を与え（船は女性名詞なので）、彼女の語りで、身の上に起きた変化を語ってもら

う構成をとっています。この構成には半田さんのこだわりがあり、少しでも防衛問題を易しく伝えたいという決意が感じられました。もちろん、船からの視点だけでは説明しきれない事柄も多いので、ナッチャンを取り巻く政治、国際状況の変化については地の文で補っています。

お恥ずかしい話、企画段階で私の頭に浮かんだのは、「戦時中、日本軍は鍋や釜まで回収して弾丸にした」というエピソードくらいなものでした。”忍び寄る軍靴の音”といった切り口です。しかし半田さんは、「その問題も大きいけれど、いくらスピードが出るフェリーだからといって、戦地仕様にもなっていない船を半分軍用にするという防衛省の泥縄式の政策も問題」等々、冷静に日本の防衛における諸問題を解説しつつ、企画意図を説明されました。

半田さんの書かれるものは、「反戦平和」を叫ぶ目的のスローガンではありません。あくまで取材で得たファクトから、「国防の今」を知ることの重要性を訴えています。

私も函館に係留されているナッチャンに乗船する取材に同行したのですが、驚いたのは、元自衛隊勤務という肩書きの船会社の方々が、快く取材に応じ、船の隅々まで見せてくれたことです。半田さんの書くことが防衛省・自衛隊にとってネガティブに映ることは、当然、ありえます。それでも、半田さんが是々非々でものを書いていることをわかっているからこそ、先方は取材を許したのでしょう。だから私も、半田さんのアイディアに、安心して耳を傾けることができるのです。（かたよせたいちろう：編集者）

●3月のフォーラムニュースをお届けいたします●今回ご紹介した「戦争と平和の船、ナッチャン」のなかにこんな一節があります。「人間と人間が殺したり、殺されたりするのが戦争。ということは、人が引き起こすのが戦争であるなら、逆に、人の考え一つでやめることもできそうなものじゃないか。戦争をするか、しないかをきめられるはずなのに、その人間が戦争に備えた訓練をするって、どういうこと……？」●まったくその通りだと私も思います。これに限らず、素朴な、素直な目でみれば、この世はおかしなことばかりです。そして、そんな時、必ず聞こえてくるのが「大人の理屈」。「世の中そんなに単純なものではない」「もっと複雑で難しい事情がある」という「大人の声」です●しかし、と私は思います。私たちが「共同体」を作り「社会」を「国家」を作ってきたのは何のためだったのでしょうか。人が皆等しく「幸福」に生きるためではなかったのでしょうか●「難しい大人の事情」がその「幸福」を壊すようなことがあっていいわけはありません。今一度、素直な「子どもの目」で世界を見直すこと。この困難な時代における子どもの本の重要さはそんなところにあるように私には思えてならないのですが。（0）